

みらい

ぎばさ(アカモク)
海藻/ホンダワラ科アカモク
磯の香りと粘りが特徴の食物繊維豊富な秋田の海の幸。生は赤褐色で湯がくと鮮やかな緑色へと変化する。ネバネバは食物繊維の一種フコイダン。口臭・体臭予防や肝機能を助ける効果もあるといわれる。ポリフェノール、鉄分、ミネラル、ビタミンKなどを多く含む。収穫盛期は5月下旬～6月。

主な内容

令和3年

2月・6月議会 要旨報告

討議資料

発行・編集責任者
／渡部 英治

県民の声を大切に、 現場主義で課題克服を!

秋田県議会 建設委員
会派みらい 代表

渡部 英治



令和3年6月議会 一般質問

皆様にはますますご清祥のこととお慶び
申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの感染は未だ
収束には遠く、ワクチン接種が進む一方、
感染力の強い変異株の影響など、予断を許さない状況にあります。

当面は感染症対策と経済の下支えを最優先に、各種施策を的確に遂行しなければなり
ません。

一方、本県の最重要課題は「人口減少・少子高齢化対策」であります。この課題の克
服なくして県勢の発展はあり得ません。

脱炭素社会の実現やデジタル化の加速など、大変革期を迎えておりますが、どんな時
代でも最後は「人」であります。

多様化する社会にあって、誰もが将来に夢と希望を持てるよう、これからも、県民の
声を大切に、現場主義のもと、山積する課題克服へ果敢にチャレンジしてまいります。

皆様には、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

渡部 英治の 県議会レポート

討議資料

今回は、令和3年6月議会一般質問の中から「人口減少対策について」と「新副知事の役割と抱負について」の質疑の概要(抜粋)を報告します。



令和3年6月議会 一般質問での再質問

●人口減少対策について



渡部

知事が最重要課題として取組んできた「人口減少対策」は、その成果が実感できず、むしろ人口減少が進んでいます。

その背景には「人口減少には特效薬がない」といった諦めムードがあるのではないかと。今こそ、知事を先頭に人口減少対策に全力投球すべきであり、全庁一丸となった取組みを更に推進すべきと考えるが、本気度も含め、知事の考えを伺う。



知事

高齢者比率が非常に高い本県の人口構造のもとでは、短期間で人口減少が改善することは困難な状況にあるが、人口減少問題を最重要課題に位置づけ、重点的な対策を実施している。企業の経営規模拡大や賃金水準向上に加え、成長分野の企業誘致により若者に魅力ある雇用の場の創出を図っていく。

また、結婚・出産・子育てといったライフステージに沿った対策を更に充実させるなど、総合的な取組みを全庁一丸となって進めていく。

●新副知事の役割と抱負について



渡部

副知事の役割は「どのように知事をサポートしていくか」がキーポイントとなる。4期目に入った佐竹県政の新体制を担う、新副知事お二人のそれぞれの役割と抱負について伺う。



神部副知事

副知事の役目は、知事の思い描く県政の実現に向け、県政全体の取組や施策に勢いをつけて広がりを持たせることであり、県民や議会、市町村、関係団体など幅広い方々との対話を繰り返し、庁内の議論も活発化させながら、県庁の常識にとらわれない考え方で、より良い政策を立案、実行していくことが大切であると考えている。

中でも、人口減少問題は県民の皆様と共に、総力戦で立ち向う必要があり、中・長期でいな木曜を共有しながら、当面の方向性を今年度策定する新たなプラン等に盛り込むなど、人口減少克服に向けたストーリーを明確に希望に満ちた秋田への道脇をつけ、知事が掲げる「高質な田舎」の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



猿田副知事

私の役目は、知事のリーダーシップを支え、ビジョンに掲げる施策事業を具現化するため、職員との活発な議論により、県庁組織を風通し良く、職員が明るく前向きに仕事がしやすい環境づくりであります。

大変革時代を捉え、賃金水準の向上や脱炭素社会の実現、デジタル化の推進に重点的に取組みますが、全国で最も事業化が進む洋上風力発電については、県内企業の参入やサプライチェーンの形成、CO₂フリー、電力を電源とする事業所の集積など経済効果の最大化や県民所得の向上につなげていくことが私の使命であります。

「スピードは最大のサービスである」を信条に、これまで培った県内外のネットワークとの緊密な連携のもと、「全員野球」で取り組んでまいります。